（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳 国庫支出金	 特定財源	 一般財源
畜産振興課・衛生環境担当	家畜保健衛生事業	66,272	66,272	54,685		(使) 3 (手) 12,947 (諸) 1,202	40,533

02　獣医師確保対策事業　26,134［(一)26,134］

1　事業目的

家畜防疫衛生と畜産振興を推進し「家畜保健衛生所法」で定められた業務を遂行するため、修学資金の貸与制度を継続するとともに、大学就職ガイダンスへの参加や高校生対象のインターンシップ事業を行い、獣医師の確保を図る。

2　事業内容

（１）獣医師修学資金貸付金　14,400［(一)14,400］

「高知県獣医師修学資金貸与条例」に基づく貸付を修学年次ごとに最長６年間、継続的に実施する。

（２）獣医師養成確保修学資金負担金　10,390［(一)10,390］

県の機関(家畜保健衛生所等)に獣医師として就業する意志を有する高校３年生等に、家畜衛生対策推進協議会が、大学入学時と大学入学後に修学資金を貸し付ける事業の１/２を負担する。

（3）獣医系大学就職ガイダンス参加　1,082［(一) 1,082］

獣医系大学で開催される就職ガイダンスに参加し、高知県における公務員獣医師の仕事等について紹介、県出身者を中心に就職を促す。

3　主な事業実績（平成30年度）

（１）獣医師修学資金貸付金

大学１年生１名に貸与

（２）獣医師養成確保修学資金負担金

私立獣医系大学に進学する県内の高校３年生２名及び大学に進学した獣医学生６名（計８名）に修学資金を貸し付ける事業の１/２を負担

（３）獣医系大学就職ガイダンス参加

17大学中13大学の就職ガイダンスに参加し、69名の学生に説明を実施

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳		
					国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・衛生環境担当	家畜伝染病予防事業	31,690	31,690	30,977	11,572		19,405

01　家畜伝染病予防事業　　27,781［(一)17,877、(国)9,904］

1　事業目的
家畜伝染病予防法に定められた伝染性疾病について検査を行い、伝染病の発生予防及び畜産農家の衛生意識の高揚を図る。

2　根拠法令等
家畜伝染病予防法、牛海綿状脳症対策特別措置法

3　事業内容
（1）家畜伝染病予防事業
伝染病の発生予防及びまん延防止を図るため、家畜伝染病予防法に定められた下記の伝染性疾病について検査を行う。

検査内容

検査実施項目	H31年度実施予定頭数	検査実施項目	H31年度実施予定頭数
牛結核病	450頭	豚繁殖・呼吸障害症候	320頭
牛ブルセラ病	100頭	豚伝染性疾病	55,000頭
牛流行熱等	240頭	ニューカッスル病	200羽
牛ヨーネ病	2,000頭	高病原性鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	2,420羽
牛白血病	400頭	鶏マイコプラズマ病	200羽
牛ｳｲﾙｽ性下痢･粘膜病	100頭	家きんｻﾙﾓﾈﾗ感染症	200羽
牛伝染性疾病	43,000頭	鶏伝染性疾病	728,000羽
伝達性海綿状脳症	53頭	腐蛆病	650群
馬伝染性疾病	60頭	蜜蜂伝染性疾病	600群
豚コレラ	190頭	その他の家畜の伝染病	50頭
豚オーエスキー病	224頭		

（2）全戸全頭立入検査の実施
立入検査委託料　14,226［(一)14,226］
・委託内容：全頭検査及び死亡牛確認等の一部を委託する
・委託先：高知県農業共済組合、民間獣医師

（単位：千円）

畜産振興課・衛生環境担当

02　BSE検査体制強化事業　　3,196［(一)1,528、(国)1,668］

1　事業目的
　ＢＳＥの県内発生の防止及び予察体制を充実させる。

2　根拠法令等
　家畜伝染病予防法、牛海綿状脳症対策特別措置法

3　事業内容
（1）職員研修の実施
　① 家畜衛生研修会（病性鑑定特殊講習会）
　② 家畜衛生講習会（基本、総合、牛疾病、豚疾病、鶏疾病、疫学、海外悪性伝染病）

（2）48ヶ月齢以上の死亡牛の全頭検査の実施
　①ＢＳＥ検査キットの購入等
　②検体採取補助業務委託料　1,306　［(一)654、(国)652］
　　委託内容：死亡牛のＢＳＥ検査に必要な延髄採材時の家畜防疫員の補助業務
　　委託先：（一社）高知県肉用子牛価格安定基金協会

細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
家畜衛生対策事業	4,676	4,676	8,710	4,354		4,356

1　事業目的
　家畜保健衛生所が中心となり、地域における家畜衛生対策の検討を行い、家畜衛生上問題となっている疾病の実態を明らかにし、迅速かつ的確な衛生指導を実施する。

2　事業内容
　迅速かつ的確な衛生指導を実施するため、下記の各種の対策に係る調査、検査及び検討会の開催を行う。
（1）監視・危機管理体制の整備
　① 家畜衛生関連情報整備
　② 精度管理体制の確立

（2）慢性疾病等の低減

（3）生産衛生の確保
　① 鶏卵衛生管理体制整備
　② 動物用医薬品危機管理

（4）家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳		
					国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産総合対策推進事業	6,184	6,184	6,097		(手) 2 (諸) 3,056	3,039

03　**畜産経営技術指導事業**　　2,552［(一)2,552］

1　事業目的

畜産環境の複雑化、技術の高度化に対応した指導方針の策定と支援体制を整備し、先進的畜産経営体、後継者、新規就農者及び地域集団に対する重点指導を実施することにより、本県畜産の担い手を育成し、畜産業の体質強化を図る。

2　根拠法令等

地域畜産総合支援体制整備事業実施要領

3　事業内容

◎　畜産経営技術指導委託料　　2,552　［(一)2,552］

委託内容：①支援指導研究会の開催
②生産・経営技術情報のデータベース基本整備
③畜産経営技術の支援指導の実施
④肉用牛情報の普及広報
⑤畜産農家同士の研修会開催、情報誌発行委託
⑥畜産新規就農者の確保と支援指導の実施

委託先：一般社団法人高知県畜産会

4　主な事業実績（平成 30 年度）

・県内畜産経営体に対して個別の経営指導を実施　69 回
・畜産関係のホームページの運営
・『高知県肉用牛情報』の発行（１回）

細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳		
				国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産生産基盤強化事業	73,556	57,376	45,062			45,062

14　**レンタル畜産施設等整備事業**　　42,931［(一)42,931］

1　事業目的

畜産生産基盤の維持・拡大を図るため、新規就農や規模拡大に要する畜産施設等整備の取り組みに対して支援する。

2　事業内容

レンタル畜産施設等整備事業費補助金　42,595［(一)42,595］

市町村又は農業協同組合が行うレンタル畜産施等の整備に要する経費について、市町村が補助する事業に対して補助する。

補 助 先：市町村
実施主体：市町村、農協
補 助 率：１/３以内（中山間地域及び災害復旧区分においては２/５以内）

3　主な事業実績（平成30年度）

・肉用牛　２戸（土佐町、安田町）
・酪農　　１戸（安田町）

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳		
					国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	土佐あかうし増頭対策事業	161,499	139,944	176,751		(手) 9 (財) 54,988 (諸) 40	121,714

03　土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付事業　80,580［(一)41,116　(財)39,464］

1　事業目的

土佐あかうし受精卵を移植する乳用牛を県が導入して酪農家に貸付け、生産された子牛は酪農家から県に納付を受けて育成し、肥育農家に販売することにより、肥育もと牛供給の安定化を図る。

2　事業内容

（1）土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付事業委託料　42,380［(一)41,116、(財)1,264］

①土佐あかうし受精卵移植用乳用牛貸付委託料

受精卵移植用乳用牛の導入、受精卵の生産及び移植を委託

委託先：高知県農業協同組合

②土佐あかうし受精卵産子育成委託料

受精卵子牛の育成を委託

委託先：土佐町酪農業協同組合、福永牧場

◎06　土佐あかうし改良増殖推進事業　30,488［(一)22,789　(財)7,659　(諸)40］

1　事業目的

土佐あかうしの生産性向上と品質面の優位性を確保するため、優秀な種雄牛や繁殖雌牛の造成を行う。

2　事業内容

（1）土佐あかうし肥育研究委託料　929［(一)929］

種雄牛候補の産肉能力検定及び肥育試験、遺伝子型調査を委託

委託先：国立大学法人高知大学

（2）家畜販売委託料　510［(一)510］

肥育牛のと体の販売を委託

委託先：高知県農業協同組合

（3）牛選別精液生産委託料　616［(一)616］

凍結性判別精液の生産を委託

委託先：（一社）家畜改良事業団

09　土佐和牛担い手確保対策事業　917［(一)917］

1　事業目的

土佐和牛農家の担い手を確保育成するため、生産地での研修等を支援するとともに、就農に向けた仕組みづくりを進める。

2　事業内容

（1）土佐和牛担い手確保対策事業費補助金　720［(一)720］

新規就農希望者の農家へのインターンシップの取組に対して補助する。

補助先：市町村

補助率：１/２以内

3　主な事業実績（平成30年度）

新規就農希望者のインターンシップの開催（１町）

（単位：千円）

畜産振興課・生産振興担当	

10　土佐あかうし受精卵移植強化事業　28,376［(一)20,502　(財)7,865　(手)9］

1　事業目的

県内公共牧場や酪農家牛舎での乳用牛への受精卵移植を推進し、土佐あかうし子牛を増産する体制を整備する。

2　事業内容

（1）土佐あかうし受精卵生産委託料　545［(一)545］

土佐あかうしの受精卵の生産を委託

委託先：国立大学法人高知大学

（2）家畜販売委託料　742［(一)742］

廃用牛のと体の販売を委託

委託先：高知県農業協同組合

（3）土佐あかうし増頭対策事業費補助金　3,052［(一)3,052］

酪農家所有の乳用牛を公共牧場に預託して土佐あかうし受精卵を移植するとともに、生産された土佐あかうし子牛を哺育育成する事業に対して補助する。

補 助 先：高知県農業協同組合

補 助 率：１/２以内

3　主な事業実績（平成30年度）

・土佐あかうし受精卵の生産、移植、子牛の哺育育成の実施

・種雄牛候補（直接検定牛）、系統造成用雌牛の導入

・繁殖雌牛導入に対する支援

★12　次世代こうち新畜産システム（IoTの活用）推進事業　5,790［(一)5,790］

1　事業目的

県内での土佐あかうし増産に資する繁殖技術を強化するとともに、生産性向上のための発情検知と情報共有化に係るIoT機器の活用により、土佐あかうし子牛生産の増加を図る。

2　事業内容

土佐あかうしの生産性向上のため、家畜保健衛生所並びに畜産試験場にIoT機器を配備し、農家での発情検知と情報共有化の実証を行う。

※参考：平成30年度は対象品種ではない「土佐あかうし」に対し畜産試験場で検証を行った結果、高い検知率（91.6%＝発情検知/実際の発情）が得られた。

13　土佐和牛経営安定対策推進事業　30,600［(一)30,600］

1　事業目的

土佐和牛増頭のため、肉用牛経営に要する経費に対して市町村が行う基金造成を支援するとともに、土佐和牛繁殖雌牛の導入や自家保留を促進させるための取り組みに対し補助する。

2　事業内容

★（1）土佐和牛経営安定対策推進事業費補助金　30,600［(一)30,600］

①土佐和牛経営安定基金造成

肉用牛導入・保留に要する経費に対する市町村が行う基金造成に対し支援する。

補 助 先：市町村

補 助 率：１/３以内

補助期間：平成31～33年度

補助対象経費：もと牛導入・保留経費　900千円×72頭＝64,800千円

②土佐和牛繁殖用雌牛保有支援

土佐和牛繁殖雌牛の導入や自家保留を促進するための取り組みに対し支援する。

補 助 先：高知県農業協同組合

実施主体：高知県農業協同組合

補 助 率：１/２以内

補助期間：平成31～33年度

補助対象経費：繁殖用雌牛導入促進　100千円× 60頭＝ 6,000千円

繁殖用雌牛保留促進　100千円×120頭＝12,000千円

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳 国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	酪農振興事業	6,071	6,071	5,992			5,992

01　乳用牛群検定推進事業　　　　　2,992［(一)2,992］

1　事業目的
　酪農の健全で効率的な発展のため、乳量、乳質等の検定結果の分析・活用を推進することにより、乳用牛の改良と先進的酪農家の育成を図る。

2　事業内容
乳用牛群検定推進事業費補助金　2,326［(一)2,326］
　酪農家の牛群管理技術、経営の向上を図る事業に対し補助する。
　　補 助 先：高知県農業協同組合
　　補 助 率：40%以内
　　補助期間：平成29～31年度
　　根拠法令等：高知県乳用牛群検定推進事業実施要領

3　主な事業実績（平成30年度）
　牛群検定を実施している酪農家26戸に対して牛群検定結果の分析・活用の指導を実施

03　乳用後継牛確保対策事業　　　　　3,000［(一)3,000］

1　事業目的
　酪農家の高能力な後継牛の効率的な確保により安定的な生乳生産を図るため、性判別凍結精液の利用の促進に対して支援する。

2　事業内容
★　乳用後継牛確保対策事業費補助金　3,000［(一)3,000］
　　乳牛の後継牛確保を促進するための取組に対し補助する。
　　補 助 先：高知県農業協同組合
　　補 助 率：２/５以内
　　補助対象経費：性判別凍結精液　２千円×1,500 本

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳 国庫支出金	 特定財源	 一般財源
畜産振興課・生産振興担当	養豚・養鶏振興事業	41,897	33,594	27,249		(手) 32 (財) 3,376	23,841

04　こうちの地鶏生産基盤拡大事業　　8,071［(一)8,071］

1　事業目的

「土佐ジロー」「土佐はちきん地鶏」の飼育農家を支援し、生産基盤の維持・規模拡大・強化による販売拠点づくりを継続すると共に、新規農家の飼養管理施設整備の取組に対して支援する。

2　事業内容

小規模鶏舎整備事業費補助金　8,000［(一)8,000］

土佐ジロー及び土佐はちきん地鶏を飼育する農家が行う簡易な鶏舎の整備に要する経費について、高知県土佐ジロー協会又は高知県土佐はちきん地鶏振興協議会が補助する事業に対し補助する。

補 助 先：高知県土佐はちきん地鶏振興協議会、高知県土佐ジロー協会

補助対象経費：①建築確認申請を必要としない鶏舎の新築及び既存鶏舎の増改築に係る経費
②鳥インフルエンザ対策のための鶏舎放飼場への屋根の設置等、野鳥進入防止対策の整備に係る経費

補 助 率：1/2以内（補助上限額：鶏舎1棟あたり200万円）

07　畜産環境対策推進事業　　4,676［(一)4,676］

1　事業目的

畜産物生産基盤の拡大、強化を図るため、地域で取り組む環境対策技術の導入を促進する。

2　事業内容

★　畜産環境対策推進事業費補助金　　2,500［(一)2,500］

地域協議会等が取り組む環境対策技術の導入に要する経費について、市町村が補助する事業に対し、補助する。

補 助 先：市町村
実施主体：地域協議会等
補助対象経費：モデル農家における環境対策技術の実証に要する経費
補 助 率：1/2以内

（単位：千円）

課名等：畜産振興課・食肉センター整備準備室

細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳 国庫支出金	 特定財源	 一般財源
食肉処理施設 整備推進事業	4,763	24,505	48,103		(諸)　22,137 (債)　19,000	6,966

1　事業目的

県内２箇所の食肉センターは、耐用年数が経過し、老朽化が進んでおり、可能な限り早期に建替整備をする必要がある。

食肉センターは、本県全体の畜産振興、さらには安全・安心な食肉の供給といった観点から極めて重要な役割を担う「公共インフラ」であり、県内に存続し、かつ、産地や消費地の近くにあることが求められる必要不可欠な施設であることから、新たに高度な衛生管理ができる食肉処理施設を建替整備する。

2　事業内容

★　食肉処理施設整備推進事業費補助金　　　45,244［(一)4,107、(諸)22,137、(債)19,000］

補 助 先：①新食肉センター整備推進協議会

②高知市の新食肉センターを設置運営する新会社（名称未定）

補 助 率：①１/２：高知市の新食肉センターを設置運営する新会社（名称未定）の立ち上げに要する経費

②定額：実施設計に要する経費（総整備費用に占めると畜部分の整備費用の割合分）

補助期間：①平成 31 年度

②平成 31～33 年度

3　主な事業実績（平成30年度）

食肉処理施設整備推進事業費補助金

新食肉センター基本設計及び建設予定地の地質調査に要する経費に対して補助

細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳 国庫支出金	 特定財源	 一般財源
★食肉処理施設 運営事業主体 出資金			50,000		(債)　37,000	13,000

1　事業目的

食肉センターは、本県全体の畜産振興、さらには安全・安心な食肉の供給といった観点から極めて重要な役割を担う「公共インフラ」であることから、設置運営を行う新会社（名称未定）の設立に必要な出資金を拠出し、その経営の安定化を図る。

2　事業内容

出資先：高知市の新食肉センターを設置運営する新会社（株式会社）（名称未定）

出資金：50,000 千円（総出資額１億円の 50％）

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳 国庫支出金	 特定財源	 一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産試験場 管理運営事業	214,329	400,904	38,801		(使) 61 (財) 888 (諸) 92 (債) 4,000	33,760

03　畜産試験場施設整備事業　　13,633［(一)9,633、(債)4,000］

1　事業目的

　畜産試験研究の効率的推進のため、機器類や農機具等の整備を行うとともに、施設の耐震化、長寿命化を図る改築・改修を行う。

2　事業内容

（1）大家畜課詰所便所改修工事

（2）構内コンクリート柱建替工事

参考：06　畜産担い手育成畜舎整備事業　　0

平成31年2月補正　239,316［(一)658、(国)119,658、(債)119,000］

1　事業目的

　畜産担い手育成センターとしての機能を畜産試験場に持たせるため、肉用牛飼養管理の実践研修が可能な施設の整備及び管理運営を行う。

2　事業内容

（1）畜産担い手育成畜舎新築工事

（2）管理棟兼飼料庫新築工事

3　畜産担い手育成畜舎建設スケジュール

平成30年度：基本設計及び地質調査

平成31年度：畜舎及び管理棟兼飼料庫建設

平成32年度：運用開始

（単位：千円）

課名等	細目 事業名	平成30年度 当初予算額	平成30年度 最終予算額	平成31年度 当初予算額	左の財源内訳		
					国庫支出金	特定財源	一般財源
畜産振興課・生産振興担当	畜産業試験研究事業	72,300	60,569	71,580		(財) 4,908 (諸) 8,938	57,734

01　畜産業試験研究事業　　21,313［(一)8,106、(財)4,908、(諸)8,299］

1　事業目的

畜産農家の収益性向上を図るため、生産現場のニーズに基づく技術開発を促進するとともに、消費者に対する安全・安心で高品質な畜産物の安定供給とブランド化に向けた技術等を改善・開発する。

2　事業内容

試験研究課題（継続課題４題、新規課題３題）

（１）体細胞対策を加味した指導用ツールの開発（平成29～31年度）
（２）土佐はちきん地鶏の未利用資源等を活用した生産技術（平成30～32年度）
（３）周年親子放牧技術の検討（平成31～34年度）
（４）ユズ精油抽出残渣の豚飼料化に関する検討（平成31～33年度）
（５）褐毛和種高知系における過剰排卵プログラムの卵胞ウェーブ調整法の検討（平成29～31年度）
（６）土佐あかうしにおける「おいしさ」の特徴および要因　解析（平成30～32年度）
（７）土佐和牛のオレイン酸による指標化（平成31～33年度）

02　畜産技術支援事業　　2,123［(一)1,154、(諸)969］

1　事業目的

県内の畜産振興を図るため技術支援を行う。

2　事業内容

技術支援事業（継続課題２題、新規課題１題）

（1）畜産環境・飼料総合対策支援（平成 31 年度）
（2）土佐ジローの生産性向上に関する研究（平成 30～31 年度）
（3）高能力飼料作物品種選定調査委託試験（平成 29～31 年度）